

マスタードガス対応マニュアル

病院	第一報受信	<p>患者到着 除染 救命措置 鑑別診断*</p> <p>重症度判定 (症状が遅れて出現するので、後に再評価が必要)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重症：水疱、重度の咳嗽、気道浮腫、呼吸困難 著明な眼瞼腫脹・疼痛、角膜傷害</p> <p>中等症：眼発赤、眼瞼腫脹・疼痛</p> <p>軽症：皮膚紅斑 鼻汁、くしゃみ、鼻出血、嘔声、乾性咳嗽 流涙、眼灼熱感、異物感、そう痒</p> </div>	治療		
		<p>暴露した可能性がある場合は少なくとも8時間は経過観察が必要</p> <p>呼吸循環管理 十分な補液 化学性肺炎、二次感染対策 骨髄抑制対策 眼・皮膚：化学熱傷に準じた対症療法</p>			
		<p>患者名簿作成 検査：血液ガス分析、血算、分析用検体（血液・尿・吐物等）採取・提出（琉球大学等へ）</p> <p>院内緊急連絡 (応援スタッフ)</p>	<p>ベッド確保 対策本部へ経過報告（随時）</p>	<p>分析結果入手（治療法の再検討）</p>	
		<p>(ICU、経過観察用) (発生状況、症状・重症度、患者再搬送依頼等)</p>			
中毒 派遣医		<p>助言・相談 / 検知紙結果の検討 / 治療マニュアル各部署へ 対策本部へ状況報告（随時）</p>	治療（必要な場合）	分析結果の検討・助言	中長期的経過観察
日本中毒 情報センター 対策本部	<p>原因物質検討（中毒君、DB等） 推定原因物質連絡 / 治療マニュアルの配布</p>	<p>患者収容状況の確認（随時） 他機関より検知結果入手し中毒臨床医へ連絡 検知紙キット結果により治療マニュアルの追加送付</p>		<p>分析結果入手し中毒臨床医へ連絡 分析結果により治療マニュアルの追加送付</p>	
備考	<p>二次汚染予防</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2～24時間潜伏期あり 保護具レベルD着用 検知紙で確認 マスクは空気より重い 患者衣類・吐物等密閉 特異的解毒剤はない</p> </div>	<p>*神経剤、びらん剤、血液剤、窒息剤、催涙剤等の鑑別（別紙） *検知紙キットの使用法（別紙、除染前に検査）</p>			